



農地の売買等の 申請受付締切日・総会予定日

総会は公開しています。傍聴を希望の方は、事務局までお問い合わせください。

申請受付締切日	総会予定日
平成31年 3月25日(月)	平成31年 4月9日(火)
4月25日(木)	5月8日(水)
5月24日(金)	6月5日(水)
6月25日(火)	7月5日(金)
7月19日(金)	7月31日(水)
8月23日(金)	9月2日(月)
9月25日(水)	10月7日(月)
10月25日(金)	11月6日(水)
11月25日(月)	12月6日(金)
12月25日(水)	平成32年 1月8日(水)
平成32年 1月24日(金)	2月5日(水)
2月25日(火)	3月3日(火)

場所 町役場会議室2
時間 15:00～
 開催日は都合により変更する場合があります。
問い合わせ
 農業委員会 ☎86-6079

標準農作業料金が決定

農作業別標準農業賃金協定会議（東庄町・農業委員会・JAかとり東庄地区）は、平成31年度の標準農作業料金を、下表のとおり協定しました。なお、この料金はあくまでも参考です。利用にあたっては作業条件により両者話し合いのうえ決定してください。

平成31年度標準農業賃金

種 目		内 容	金 額	
水田の部	機械	耕起(ロータリー)	10a当り1回耕(耕深度15cm以上)	5,600円
		代かき	10a当り	6,100円
		耕起～代かき	耕起1回、代かき一貫 10a当り	11,500円
		田植え	受託者苗もち 10a当り中苗基準	22,200円
		(施肥田植えは別料金)	植付け作業(植付けのみ) 10a当り	6,500円
			苗運搬作業 10a当り	1,500円
		育苗	1箱当り	700円
		稲刈り	コンバイン(刈取のみ) 10a当り	16,500円
			籾運搬作業 10a当り	2,000円
			収穫・乾燥・調整 10a当り一貫	35,000円
	乾燥調整		1俵当り(籾摺料金を含む)	2,300円
		調整(籾摺)	1俵当り	600円
		あぜぬり	1m当り	35円
	普通	水田作業一般	時間給	1,000円
畑の部	機械	耕起(ロータリー)	10a当り1回耕(耕深度15cm以上)	4,600円
		深耕	10a当り1回耕(耕深度50cm以上)	11,000円
	普通	畑作業一般	時間給	895円

問い合わせ 農業委員会 ☎86-6079

鳥たちのサンクチュアリ コジュリン

東庄に住む希少な鳥を坂さんに紹介していただきます



春は可憐で美しいさえずりも特徴 コジュリンと東庄町

◎コジュリン・オオセッカ観察会講師
坂 有希子さん
(岩手大学大学院 連合農学研究科)



スズメ目ホオジロ科ホオジロ属

東庄町のキャラクター、コジュリンくんのモデルであるコジュリンは、春になると利根川河川敷のヨシのてっぺんで元気にさえずる姿を見せてくれます。さえずりは、オスが求愛や自分の縄張りを主張するために歌うことを言い、特にコジュリンのさえずりは、紙面でお伝えできないことが悔しく思えるほど、可憐で美しいものです。ぜひ動画を検索してみてください。

オスの黒い頭が特徴的ですが、この姿は暖かい季節の時だけ。秋・冬にはメスと同じ茶色になります。冬から春の色の変化は羽の生えかわりではなく、根元が黒く上部が茶色い羽が上から少しずつ削れていき、春にちょうど黒い部分が見えてくる、という仕掛けでおきています。

皆さんにとって身近なコジュリンも、実は絶滅危惧種Ⅱ類の希少な鳥です。暮らすヨシ原にこだわりが強いタイプですので、現在日本中で7カ所しか子育てできていません。利根川は三大繁殖地の一つ。コジュリンにとって東庄町は大変重要な場所です。

姿を観察する際は、双眼鏡が必要になりますが、声を聞くだけでも十分楽しめます。堤防の上から彼らの恋模様をのぞいてみてください。



想いを一つに

住民福祉大会

降雪が心配された2月9日(土)に、町公民館で住民福祉大会が開催されました。当日は雨模様でしたが、ホールに人があふれるほど大勢の人で賑わいました。

式典では、福祉活動に功績のあった方や団体が表彰されました。また、石出小児童による福祉活動の発表や、旭安来節同好会によるどじょう掬い踊りが披露され、会場の笑いを誘っていました。

記念講演では、新潟産業大学経済学部准教授で、北朝鮮拉致被害者の蓮池薫さんが、拉致被害の苦しみや当時の様子、状況などを語りました。拉致問題の解決に対して、一人一人が切実に考え、想いを一つにすることを訴えるなど、その力強い講演に、来場者は真剣に聞き入り、会場は熱を帯びていました。



無病息災を願う

節分祭

町内の神社では、2月3日(日)の節分に、無病息災を願い節分祭が行われました。

左右大神では、年男や年女、区長の方々など、地域の皆さんで玉ぐしを奉納する式典が行われた後、「福は内、鬼は外」の掛け声のもと、一斉に豆まきを行いました。奉納されたお菓子なども投げられるため、境内には、地元の子どもたちや家族連れが大きな袋を持って訪れ、たくさん取ろうと手を伸ばしたり、袋を広げたりしていました。

神栖市から来た家族は、「地元が近くのため、今日は参拝に来ました。たくさん豆もお菓子も取ることができたので、良いことがありそうです」と、喜んでいました。



租税教室

2/6(水)

税の大切さを学ぶ租税教室が、東城小学校で行われました。6年生の児童は、町税務担当職員とともに、税金の種類や仕組み、必要性を映像や資料を使って、学びました。

児童は、授業の中で1億円のレプリカを持ち、その重さを体感。学校の校舎や体育館の建設には、たくさんの税金が必要であると知り、税への理解を深め、より身近に感じている様子でした。



自転車教室

2/5(火)

各小学校で、中学校入学に向けた6年生対象の自転車教室が開かれました。

石出小学校では、安全確認の仕方や危険を予測した走行など、ルールや正しい走行を学び、校庭内で繰り返し練習し、近くの公道約3.5キロを走りました。また、事故にあったときの行動や、自分や歩行者の命を守ることなど、万が一のことにも備える心構え、安全運転の大切さを学びました。



家庭教育学級 合同講演会

1/25(金)

町公民館で、家庭教育学級の合同閉級式と講演会が行われました。

講演会では、テレビでも活躍する言語学者で杏林大学教授の金田一秀穂さんが、「不思議な日本語」をテーマに、子どもの言葉遣いと家族との関係をアニメに例えて話しました。また、学校での国語教育について、自らの考えをユーモアを交えて話すなど、とても面白く分かりやすい内容に、参加者からは笑い声も起きていました。